

## JENESYS2017 招へいプログラム第 14 陣の記録

対象国:カンボジア

テーマ : (文化) 日本文化交流

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として、カンボジアより大学生および社会人 25 名が 2018 年 1 月 16 日～1 月 23 日の日程で来日し、「文化、日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、都内で天皇制や政治に関する講義を聴講し、今日までの日本について学び、宮城県では日本の伝統文化体験から日本に関する知見をさらに深めました。また、学校交流では同世代の学生、留学生との意見交換を通じて日本の大学生活等について学びました。ホームステイでは日本人の生活様式や地方独自の文化に触れながら、地域の方々と交流しました。

また、日本人との交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

#### 【参加国・人数】

カンボジア 25 名

#### 【訪問地】

東京都、宮城県

### 2. 日程

- |             |   |
|-------------|---|
| 1 月 16 日(火) | 来日<br>【オリエンテーション】                                       |
| 1 月 17 日(水) | 【日本理解講義／基調講演】<br>【歴史的建造物等視察】浅草・仲見世<br>【最先端技術視察】日本科学未来館  |
| 1 月 18 日(木) | 都内から宮城県へ移動<br>【地域概要講義】公益財団法人 仙台観光国際協会<br>【文化体験】七夕飾り作り体験 |
| 1 月 19 日(金) | 【学校交流】国立大学法人宮城教育大学<br>【文化体験】和太鼓体験<br>【ホームステイ対面式】        |
| 1 月 20 日(土) | 【ホームステイ】  |
| 1 月 21 日(日) | 【地域の人々との交流会】<br>【ワークショップ】                               |
| 1 月 22 日(月) | 地方から都内へ移動   |

【報告会】

1月23日(火) 離日

3. プログラム記録写真



1/17 【最先端技術視察】 日本科学未来館



1/18 【地域概要講義】 公益財団法人 仙台観光国際協会



1/18 【文化体験】 七夕飾り作り体験



1/19 【学校交流】 国立大学法人宮城教育大学



1/19 【文化体験】 和太鼓体験



1/20 【ホームステイ】



1/21 【地域の人々との交流会】



1/22 【報告会】

4. 参加者の感想 (抜粋)

#### ◆ カンボジア 学生

日本に到着した時、カンボジアの気候との違いにまず気づきました。あまりに寒くて、話すと口から蒸気のように煙が出てきて驚きました。日本人は交通ルールを守り、車はとてもスムーズに流れていました。また、日本人は親切だと感じました。見知らぬ人に道を尋ねた時、親切に案内してくれました。日本食の見た目は他の食事と同じですが、塩分の加減が良く、とても健康的な食べ物だと思いました。日本は地域によってそれぞれの特徴があり、街はとても綺麗でした。環境が整備され、健康的な暮らしができると感じました。日本に住みたいと思いました。

#### ◆ カンボジア 学生

日本に到着し、景色を見た瞬間感動しました。自分が夢の中にいるような気がしました。気候は寒いですが、街には高層ビルを立ち並び、ごみがなく、交通渋滞もなく、空気が綺麗でした。交通網が整備されて、道路には並木があって綺麗な街だと感じました。私は、その風景を見て、本当に日本に住みたいと思うようになりました。基調講演では、日本の歴史、政治、社会について学びました。宮城県では、在住外国人と意見交換をし、宮城県での暮らしをより理解することができました。ホームステイでは自分の子どものように大切にしてくれ、感動しました。たくさんの思い出ができました。この思い出は一生忘れることができません。

#### ◆ カンボジア 学生

基調講演では、今まで知らなかった日本の歴史、政治、社会を学ぶことができました。仙台では他の地域とは違う仙台七夕のを知り、七夕飾り作りをしました。宮城教育大学との交流では、日本人学生と留学生との意見交換が行われ、日本の大学生活をより理解することが出来ました。ホームステイは私にとって初めての外国人との暮らしだったのでとても不思議な感覚でした。言葉の壁はありましたが、お互いに時間をかけてコミュニケーションを取ることができました。とても楽しく、かけがえのない体験を得ることができました。

### 5. 受入れ側の感想

#### ◆ ホストファミリー

日本の文化（和太鼓、お茶、着付け）に触れて頂けて良かったと感じました。雪遊び（そりすべり）は子どものようにはしゃいで楽しんでいました。また、料理も作ってくれて美味しく頂きました。

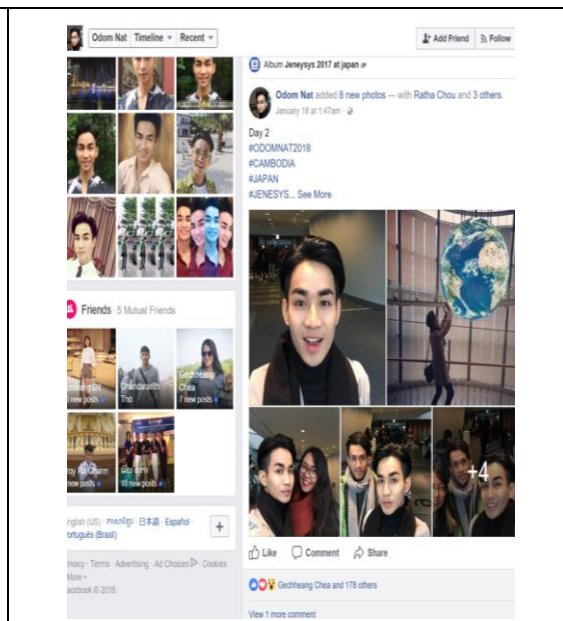
#### ◆ ホストファミリー

日本語が少し話せる学生がいたのでとても良かったです。剣道や習字、この地区の食べ物など、日本にすごく興味を持っている学生でした。

### 6. 参加者の対外発信

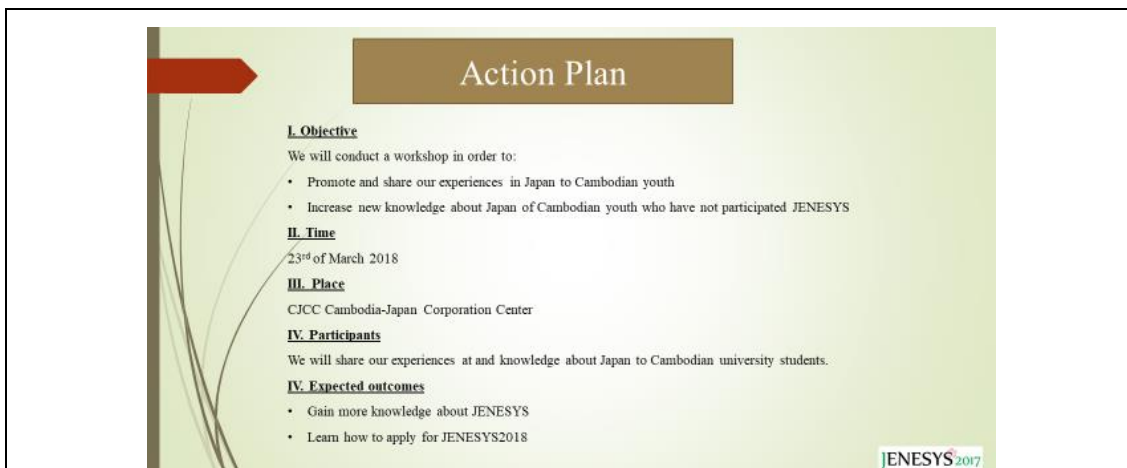


浅草についての発信 (Facebook)  
浅草寺参拝



未来館についての発信 (Facebook)  
日本の先端技術の素晴らしさを実感。その感動をみなさんへ。

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



アクション・プランの発表  
 ・カンボジアの若者に私たちの経験を共有し推奨する。  
 ・JENESYS プログラムに参加していないカンボジアの若者に日本についての新しい知識を紹介する。